

タイトル『君の月卒月歳をたべたい』

著者：住野よる

出版社：双葉社

この本は、映画やアニメ化されてたくさんの人が知っていると思います。

この本では、最後までどうなるかわからなく読んでいてあきがきません。それにとってもいろいろな事を感じがえる本だと思います。人の「死」に対する考え方、などを考えさせられる作品だと思います。物語の最初では、たんとちは母をなく友たろうもいない「僕」が、あの日「彼女」と出会ってからいろいろなことを体験しわら、たり、かなしんだり、ないたりという感情がめばえしてきたり、とても感動します。

ぜひ、映画や、アニメはちがう、文庫本の「君の月卒月歳をたべたい」をよんでみてください!!!

投稿日 2019 年 10月 25日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

B

年齢

13

仙台市

YAコーナー